



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月3日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹川 英俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 森浦 正名 (TEL) 042-345-3131
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	44,554	4.3	1,190	△8.6	1,174	△11.2	698	△12.3
25年2月期第1四半期	42,705	13.0	1,303	△5.9	1,322	3.4	796	156.0

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 784百万円(△2.0%) 25年2月期第1四半期 800百万円(154.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	39.66	—
25年2月期第1四半期	47.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	68,912	37,199	54.0
25年2月期	65,941	36,943	56.0

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 37,199百万円 25年2月期 36,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	30.0	30.0
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	30.0	30.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,500	6.6	2,650	△10.0	2,800	△10.5	1,650	△0.8	93.67
通期	188,000	7.4	4,000	2.1	4,200	2.1	2,200	1.7	124.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期1Q	17,625,660株	25年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	11,106株	25年2月期	11,026株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期1Q	17,614,565株	25年2月期1Q	16,614,894株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待から株価が上昇し、円高是正も進むなど、景気は緩やかに持ち直しております。

食品業界では、消費者の低価格志向が継続する一方で、原材料価格の高騰などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド商品の販売伸長などにより、売上を拡大しました。また、今後見込まれる生産量の増大に対処するため、3月には相模原工場第二（和菓子専用施設）が稼働し、名古屋工場の増改築工事も進んでおります。さらに、セブン-イレブンの四国進出に伴い、3月より新エリアである同地方への納品を開始し、12月には香川工場の稼働を予定しております。

この結果、当第1四半期の売上高は445億5千4百万円（前年同期比18億4千8百万円、4.3%増）となりました。しかしながら、利益面では米価の上昇などにより、営業利益は11億9千万円（前年同期比1億1千2百万円、8.6%減）、経常利益は11億7千4百万円（前年同期比1億4千8百万円、11.2%減）、四半期純利益は、6億9千8百万円（前年同期比9千7百万円、12.3%減）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

セブン-イレブンの四国エリア進出を含む納品店舗数の増加、チルド温度帯の商品である「ロールパン」、「パスタ」などの売上が伸長したことにより、売上高は346億4千7百万円（前年同期比18億5千6百万円、5.7%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、米価の上昇などにより10億2千7百万円（前年同期比3千5百万円、3.3%減）となりました。

[食材関連事業]

水産加工品や鶏加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は54億8千9百万円（前年同期比1億6千6百万円、3.1%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、円安の影響などにより6千3百万円（前年同期比1千9百万円、23.6%減）となりました。

[物流関連事業]

セブン-イレブンの店舗増加に伴う店舗配送の拡大や、倉庫事業の増収により、売上高は31億4千3百万円（前年同期比1億7千1百万円、5.8%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、四国地区に開設した営業所の一時的費用発生などの影響を受け、前期並みの7千6百万円（前年同期比3百万円、4.9%増）となりました。

[その他]

人材派遣事業において、自動車関連向けの売上が減少したことにより、売上高は12億7千4百万円（前年同期比3億4千6百万円、21.4%減）、営業利益は5千2百万円（前年同期比5千2百万円、49.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて29億7千万円増加し、689億1千2百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて27億1千4百万円増加し、317億1千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて2億5千5百万円増加し、371億9千9百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想は、平成25年4月12日付「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しました数値から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,999	5,962
受取手形及び売掛金	14,339	16,253
商品及び製品	2,807	3,329
原材料及び貯蔵品	749	785
その他	2,226	2,428
貸倒引当金	△83	△82
流動資産合計	26,037	28,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,202	40,234
減価償却累計額	△23,561	△23,903
建物及び構築物(純額)	15,641	16,331
機械装置及び運搬具	15,887	16,132
減価償却累計額	△11,808	△11,875
機械装置及び運搬具(純額)	4,079	4,257
土地	12,505	12,505
建設仮勘定	987	321
その他	4,840	5,095
減価償却累計額	△2,347	△2,504
その他(純額)	2,492	2,590
有形固定資産合計	35,706	36,006
無形固定資産		
その他	503	466
無形固定資産合計	503	466
投資その他の資産		
その他	3,696	3,766
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	3,693	3,763
固定資産合計	39,904	40,236
資産合計	65,941	68,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,435	9,190
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	1,294	1,287
未払金	5,761	6,236
未払法人税等	747	658
賞与引当金	738	1,135
役員賞与引当金	—	36
その他	2,199	2,866
流動負債合計	19,276	21,410
固定負債		
長期借入金	4,745	5,225
退職給付引当金	1,976	1,974
資産除去債務	784	821
その他	2,213	2,280
固定負債合計	9,720	10,302
負債合計	28,997	31,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	20,802	20,972
自己株式	△16	△16
株主資本合計	36,979	37,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	87
繰延ヘッジ損益	13	10
為替換算調整勘定	△94	△47
その他の包括利益累計額合計	△35	50
純資産合計	36,943	37,199
負債純資産合計	65,941	68,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	42,705	44,554
売上原価	36,112	37,787
売上総利益	6,593	6,766
販売費及び一般管理費	5,289	5,575
営業利益	1,303	1,190
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	11	9
受取賃貸料	41	39
その他	49	59
営業外収益合計	106	112
営業外費用		
支払利息	34	28
固定資産除却損	16	58
賃貸収入原価	24	22
その他	12	18
営業外費用合計	87	129
経常利益	1,322	1,174
税金等調整前四半期純利益	1,322	1,174
法人税、住民税及び事業税	640	691
法人税等調整額	△114	△216
法人税等合計	525	475
少数株主損益調整前四半期純利益	796	698
四半期純利益	796	698

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	796	698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	40
繰延ヘッジ損益	△25	△2
為替換算調整勘定	29	47
その他の包括利益合計	4	85
四半期包括利益	800	784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	800	784

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	32,790	5,322	2,971	41,085	1,620	42,705	—	42,705
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	341	614	956	2,978	3,934	△3,934	—
計	32,790	5,664	3,586	42,041	4,598	46,640	△3,934	42,705
セグメント利益	1,062	83	72	1,218	104	1,323	△19	1,303

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	34,647	5,489	3,143	43,280	1,274	44,554	—	44,554
セグメント間の 内部売上高または振替高	—	367	640	1,007	3,685	4,693	△4,693	—
計	34,647	5,856	3,783	44,287	4,959	49,247	△4,693	44,554
セグメント利益	1,027	63	76	1,167	52	1,220	△29	1,190

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△29百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。